

授 業 科目名	教養講義（人文地理学Ⅰ）	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科に関する科目（社会・地歴）					
サブ タイトル	地図やグラフからみる地域のすがたと形成	担当者	伊藤 修一			
講義概要	<p>【概要】 人口や食料の生産（農業）を中心的なテーマとして、人間活動が地域形成とどのように関わり、環境が人間活動にどのように影響を与えているかを、具体的な地域を取り上げて概説される。その際には、地理学の研究手法である地図を用いた空間解析や、地図やグラフの作成を各自実践してもらい、環境と人間との相互作用に関する理解をより深めてもらう。</p> <p>【到達目標】 地図やグラフの特性とその役割を理解して活用できることと、社会環境や人間活動の基本的特徴について、距離や空間を踏まえて読み取り、説明できることを目標とする。</p>					
履修条件	講義の際は色鉛筆（12色程度、小学校などで使ったものでよい）と定規（20cm程度）を用意すること。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 中学校・高校などで用いた地図帳</p> <p>【参考書】 講義の中で適宜紹介する。</p>					
授業回数	内容					
1	イントロダクション					
2	地理学・人文地理学とは？					
3	地図やグラフの表現①—地図とは？					
4	地図やグラフの表現②—電子地図の普及とその背景					
5	地図やグラフの表現③—地図やグラフの表現のルールと工夫					
6	人口①—人口の変化と空間的分布					
7	人口②—人口の構造とその変化					
8	人口③—人口データからのグラフ作成と読み取り					
9	食料と人口の関係①—農業の地域的展開					
10	食料と人口の関係②—食料の自給と移動					
11	食料と人口の関係③—食料の生産と環境問題					
12	土地利用図の作成と読み取り①—地形図の基本的特徴					
13	土地利用図の作成と読み取り②—土地利用の分析					
14	土地利用図の作成と読み取り③—「地産地消」の再検討					
15	まとめ					
評価方法	授業のなかで実施される試験の結果（50%）と、課題への取り組み・提出・返却状況（50%）に基づいて評価される。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	特になし					